

事例 ホクショー株式会社（石川県金沢市）

- 事業内容：物流システム・自動化機器の開発・設計・製造・販売及びメンテナンスサービス
- 設立：1952年 資本金：2億250万円 従業員：355名

ホクショーは物流システムメーカーとして垂直搬送・仕分け搬送システムを製造販売するシェアトップ企業

SDGsの経営実装を通じたCNの推進

CN取組の内容

- **PPAモデルの太陽光導入によるCO2削減**
2021年7月にPPAモデルの太陽光（800kW）を導入し、主要工場の電力使用量約1/4を再エネでカバー。2022年度のCO2排出量22%減（2021年度比）を達成。
- **環境配慮を製品開発での差別化につなげる**
高品質に加え、環境配慮の要素を技術開発に取り入れることで他社製品との差別化を図っている。同社が製造販売する省エネ制御システム「VEAS*」は産業界のCO2削減や資源節約にも貢献。



太陽光発電設備（同社白山工場）

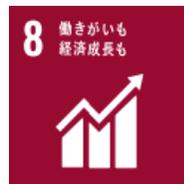


VEAS

ここがポイント

SDGsの一環としてCNに取り組む

SDGsを入口として経営指針に環境配慮の取組を重要項目として位置づけ。具体的にはCO2削減目標として2030年30%削減（2020年度比）を設定し、CN対応を進めている。SDGsの中では、特にテーマ8（働きがいも経済成長も）、9（産業と技術革新の基盤を作ろう）、12（つくる責任、つかう責任）、13（気候変動に具体的な対策を）を社全体の目標として明確化。各部署・社員の業務目標にまで落とし込むことで社内体制の強化、実効性の担保を図っている。



VEAS・・・蓄電デバイスを活用した起動電力アシストシステム。需要電力の低減や省資源・省電力に寄与。